

令和5年度 小金井第三小学校 第4回学校運営協議会 記録

<日時>令和5年11月25日(土) 午後1時30分から午後2時30分まで
<会場>4階家庭科室

出席者：12名中7名参加(委員の過半数以上の出席により本会成立)

1 開会の言葉および校長挨拶

- この協議会には、①教育委員会への人事要望ができること、②来年度の教育課程、校長の学校経営方針に対して承認を行うことという役割もある。人事要望については、「主体的な学びや探究活動を支え、自らの授業力を高めようと研究と修養に努める教員」、「新しい取組に前向きでチャレンジングな教員」、「コミュニティスクールを支える地域連携に積極的な教員」というご意見をいただき、要望して報告をした。今回は来年度の学校経営方針や計画などについて説明をしたいと考えている。忌憚のないご意見を賜りたい。

2 報告及び協議

(1) 2学期の学校行事についての報告

- 4年ぶりの運動会、昨年度は雨でできなかったが、今年度は児童同士がそれぞれの発表を見合うことができたし、得点競技の団体種目も再開できた。さらに、6年生の係活動も再開し、「学校行事を支える6年生」としての自覚をもたせることができた。9月から始まった練習時の熱中症対策に苦勞したが、その時の気温や状況に合わせた対応ができた。(学校)
- 以前の運動会のような午後までの実施や組体操がなくなるなど、社会の変化やコロナ禍を経て、運動会の在り方も変わってきたように感じた。(委員)
- 音楽会は「つながる心、響き合う音楽」をテーマにして行った。やらされているのではなく、自分で考えながら参加できるよう、振り返りカードを活用した。人数が多いこともあり、児童鑑賞日の実施計画の立案が大変だったが、教職員が連携して進め、充実した音楽会ができた。(学校)
- 音楽会の6年生が特に素晴らしかった。子供の挨拶にもあったが、最初は演奏を合わせることが苦勞したようだ。そのことを乗り越えての演奏だと思いながら聴かせてもらった。感動した。(委員)

(2) 学校の働き方改革

- 今年度の小学校教員採用(全科)の倍率は1.1倍という状況だった。教職志望者が減り、人員確保に苦勞している状況が続いている。会議の縮減や行事の見直しなどの様々な取組を進めてきた。新たなことをするためには、何かをスクラップしないといけない。やりがいのある素晴らしい仕事であるにもかかわらず、ブラックなイメージになっているのは誠に残念である。(学校)

(3) 令和6年度 学校経営方針

- 来年度も重点目標を「考える子供」としたい。「授業変革」と「地域・保護者との連携、協働」を中心に、凡事徹底、公立学校として求められていることを着実に実行する学校経営を進めていく。次回の学運協に向けてご意見をいただきたい。(学校)

(4) 令和6年度に向けて

- 熱中症警戒アラートが頻発するなど、猛暑への対応が続いたことを踏まえ、来年度の運動会を熱中症の心配の少ない10月中旬の開催を検討している。また、5年の移動教室を1泊2日とし、6年の移動教室を2グループでの実施から学年全体への実施へと変更したいと考えている。(学校)
- 学校行事の変更は、子供主体の視点から考えてもらいたい。説明できるものなら保護者の理解は得られるはずである。(委員)
- 共働き家庭も増え、企業的な考え方をする保護者も多くなっている。企業では何事も優先順位をつけながら行っている。スクラップ&ビルドの結果、質は保障されないといけない。(委員)

(5) その他

- 三小PTAフォーラムについて(SDGsがテーマ)

3 事務連絡

- 次回の学校運営協議会の予定の確認。

4 閉会の言葉(副校長)